

2023年1月15日(日)

中国新聞 SELECT 掲載

隊次：2018-1 次隊

氏名：佐藤 仁美さん

派遣国：タイ

職種：青少年活動



JICA
だより



タイ

(2018～20年派遣)

佐藤仁美さん(32)

東広島市

2018年、国際協力機構(JICA)の海外協力隊として、タイのナコンラーチャシーマー県にある人身取引被害者保護福祉センターに赴任した。

英語や日本語を教えたり、性的搾取や強制労働などの人身取引やエイズウイルス(HIV)やエイズに関する指導をしたりしていた。キャリア教育にも取り組んだ。

仕事は、被害に遭った12～18歳の少女たちに対し、

人身取引被害減らしたい

肯定感を高め、将来の選択肢が広がるようサポートした。センターで約1年間過ごした彼女たちは、それぞれに葛藤を抱えながらも、

この施設を出る頃は笑顔が増え、心身とも成長して健康になる子が多かった。もらった感謝の手紙は、今も大切に持っている。

1回の食事、電気も水もない家、頼れる大人が近くにいない環境…。中には、生きるために自ら売春をした、再び人身取引の被害者になったりする少女もいた。その姿に、自分にできることの限界を思い



タイで授業をする筆者(奥中央)

私は、少女知らされたようで苦しくなった。その後、

それ以降、機会があれば何人かを家庭訪問した。久しぶりの再会で喜ぶと同時に、被害者や自分の境遇を比べ、共通点がたくさんあった。感謝をくれた中学生もいた。

被害者の少女を金で買う

貧困、長時間労働、1日人の中には日本人もたくさんいて、決して人ごとではない。私は現在、広島大学

の国際教育開発プログラムで、再び学生生活を送りながら、タイの少女たちのその後を調査している。人身取引の被害に遭う

人を減らせる研究をしたい。